

三菱自動車の車両データと当社EVエネルギーマネジメントシステムの連携

2026年3月26日

関西電力株式会社

当社は、三菱自動車工業株式会社（以下、三菱自動車）のネクティッドシステム^{※1}を通じて取得する電動車の車両データと、当社が法人のお客さま向けに提供しているEVエネルギーマネジメントシステム^{※2}（以下、EV-EMS）のシステム連携を完了し、本連携に関する契約を締結しました。

自動車メーカーのネクティッドシステムとのAPI^{※3}を通じて、車両データを当社のEV-EMSに連携させる取組みは、当社として初めてとなります。

当社は、EV-EMSに分散型エネルギーリソースAI最適制御ソリューション「Senason」^{※4}を連携させることで、建物の電力使用状況や太陽光発電の発電予測データ等を活用したEV充電マネジメントサービスを提供しております。

本取組みでは、新たに三菱自動車のネクティッドシステムを通じて取得するSOC^{※5}や走行情報等の車両データをEV-EMSに連携させることで、車両動態に応じたEV充電計画を策定し、建物全体の電力使用ピークの更なる抑制を図ります。

また、将来的には、デマンドレスポンス^{※6}への更なる活用等も含め、電力の需給状況を踏まえた充電制御の高度化を進めることで、充電電力のコスト最適化およびCO₂削減の実現を目指します。

当社は今後も、さまざまな車両データの活用をはじめとしたEV-EMSの高度化に取り組み、業界や車種の枠を超えた電動車の運用課題解決と脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：インターネットや無線通信を利用して車両が外部のデバイスやサービスと情報通信するシステム。これによりリアルタイムの車両情報の取得や遠隔制御が可能となる。

※2：EVの効率的な充電と電気料金のコスト抑制を両立させる制御システム。

※3：システム間でデータを受け渡すための接続仕様。

※4：当社が提供するエネルギーマネジメントサービス（EMS）で、企業や施設の設備機器を自動制御し、省CO₂・省コスト等を実現するサービス。<https://sol.kepco.jp/senason/>

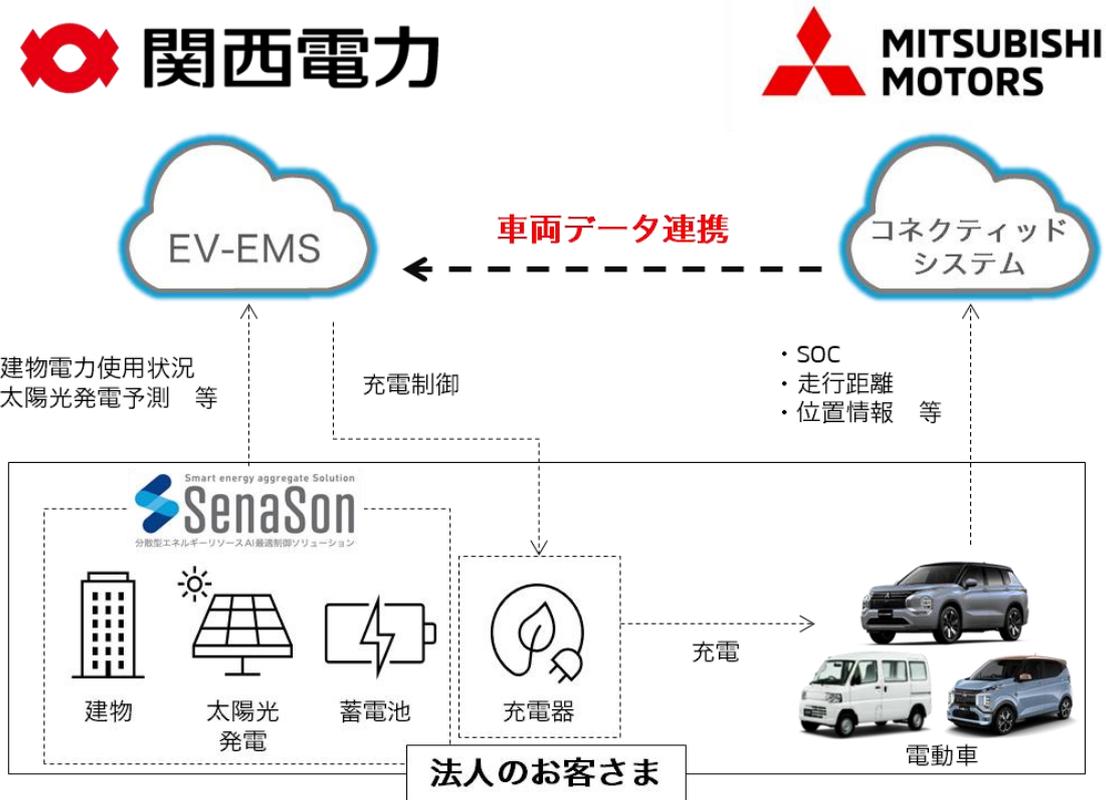
※5：バッテリーの満充電容量に対し、現在どれくらいの電力が残っているかをパーセンテージ（0～100%）で表す指標。

※6：需要側において、電力需給に応じて電気の使用を抑制またはシフトする仕組み。

以上

別紙：本取組みの概要等

【本取組みの概要】



【各社の役割】

関西電力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両データを連携したEV-EMSのお客さまへの提供 ・ 車両データを活用したEV-EMSの高度化
三菱自動車	<ul style="list-style-type: none"> ・ API を通じた EV-EMS への車両データ連携 ・ データ連携車種ラインナップの追加

<三菱自動車工業 プレスリリース>

[三菱自動車、関西電力のEVエネルギーマネジメントシステムに車両データを連携](#)

以上